

Minami Kyushu University Syllabus

| シラバス年度 | 2024年度 | 開講キャンパス | 都城キャンパス | 開設学科 | 子ども教育学科 | | | | |
|----------------|--|---------|---------|------|---------|--------|----|----------------|---|
| 科目名称 | 子ども教育専門ゼミ I | | | | | 授業形態 | 講義 | | |
| 科目コード | 750114 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 3 | 実務経験教員 | | アクティブ ラーニング | ○ |
| 担当教員名 | 本田 和也 | | | | | | | ICT活 用 | |
| 授業概要 | <p>本授業は、特別支援教育・保育を専門的に研究していくための基礎的な力を養うことを目的とする。 文献や資料の収集や整理などを通して、情報活用方法を学ぶ。 また、研究テーマに沿った先行文献と出会い、要旨まとめ、質疑応答を通して、研究テーマを探求する力を学ぶ。 学生自ら課題を発見し、研究テーマに沿った課題の解決に向けて、調査および文献研究を進め、さらに探求する力を養う。</p> | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 事前に、子ども教育プレゼミを履修しておくこと | | | | | | | | |
| 授業の進め方 と方法 | 基本的に、演習形式の授業を展開する。前半は、各自の関心のある研究テーマに沿った課題として出された先行文献等の要旨のまとめを行い、全体で発表し、質疑応答を通して、多角的に考察する力を養う。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第1回】 | オリエンテーション（自己紹介および研究の方向性の確認） | | | | | | | | |
| 授業計画 【第2回】 | 各自の研究テーマの要旨発表および質疑応答 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第3回】 | 各自の研究テーマに沿った課題文献検討 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第4回】 | 各自の課題文献の要旨まとめと質疑応答① | | | | | | | | |
| 授業計画 【第5回】 | 各自の課題文献の要旨まとめと質疑応答② | | | | | | | | |
| 授業計画 【第6回】 | 各自の課題文献の要旨まとめと質疑応答③ | | | | | | | | |
| 授業計画 【第7回】 | 各自の課題文献の要旨まとめと質疑応答④ | | | | | | | | |
| 授業計画 【第8回】 | 中間まとめ | | | | | | | | |
| 授業計画 【第9回】 | 各自の研究テーマの再確認 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第10回】 | 各自の研究テーマに基づいた課題設定① | | | | | | | | |

| | |
|-----------------|--|
| 授業計画【第11回】 | 各自の研究テーマに基づいた課題設定② |
| 授業計画【第12回】 | 先行研究や先行文献の収集および整理 |
| 授業計画【第13回】 | 先行研究や先行文献の収集および整理 |
| 授業計画【第14回】 | 各自の研究テーマに沿った報告と質疑応答① |
| 授業計画【第15回】 | 各自の研究テーマに沿った報告と質疑応答② |
| 授業の到達目標 | 先行文献等を丁寧に読み、要旨をまとめ、報告することで、論文作成の一連の流れを学ぶ。また、2年次までに身に付けた文献の読み方、発表や討論の仕方、レポートのまとめ方等の力を生かし、事実に応じて自発的に探究する力を付ける。 |
| 学位授与の方針(DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5) |
| 授業時間外学習【予習】 | 各自、発表の際は、要旨の作成に加え質疑応答に対応するため、課題先行論文等を熟読玩味して臨むこととする。また、興味関心のある研究テーマを設定し、課題と出会うために、自ら率先して論文を読み深めていくこととする。 |
| 授業時間外学習【復習】 | 発表等の反省やアドバイスを踏まえ、研究テーマの再設定、研究内容、方法の内容のあり方を精査していく。 |
| 課題に対するフィードバック | 提出課題は、授業時間に評価・解説を行う。 |
| 評価方法・基準 | 討論や文献・情報収集への取り組みや発表などを総合的に評価する。 |
| テキスト | 特になし |
| 参考書 | 必要に応じて図書、資料などを紹介する |
| 備考 | |